

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フェローIntech		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52家庭	(回答者数) 38家庭
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラミングという教材を使った支援を行っていること	プログラミングをテーマにした様々なイベントを実施していること ・スクラッチ実践講座 ・スクラッチ先生 ・親子プログラミング ・成果発表会 ・プログラミングコンテスト	フェローIntechの利用児童だけでなく、他のデイや地域の子どもたちも参加できるようなイベントを開催していく
2	一人1台のパソコンを使うことができる環境	共通のゲームなどを通じて、他者と関わる機会になり、コミュニケーションがとれる環境を作ること	他者と関わるうえで必要なコミュニケーションやパソコンを使う上で気をつけることを学ぶことができる機会を提供していく ・アンガーマネジメント ・SST ・ITリテラシー
3	プログラミングの資格を取ることができるカリキュラムがある	イベントを通して、試験の模擬練習ができる機会をつくっている 合格した児童がこれから挑戦したり、わからないと困っていたりしている児童に教える機会をつくっている 受けてみたい、挑戦してみたいと児童が感じる声掛けや環境整備をしている	他のデイや地域の子どもたちでも挑戦できるように広報を行ったり、環境を整えていったりしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者勉強会を実施ができていない	自部署内で、保護者さんが抱えている悩みなどを解消するための行動を取ることができていない	保護者勉強会の実施をするために
2	外出イベントの実施ができていない	外出する上での安全面の確保や、外出イベントの目的をしっかりと考えることができていない	子どもたちの成長に繋がるイベントを考えることや、外出イベント時で気をつけることをしっかりと共有、準備すること
3	支援において属人化するなど、支援力にばらつきが生まれていること	専門的なスキルを学ぶ機会が少ない 視覚支援の教材や、プログラミングを教えるにあたっての教材が不足していること	視覚支援教材の作成 プログラミングを学ぶ機会をつくる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フェローIntech

公表日 令和7年11月1日

利用児童数 52家庭

回収数 38家庭

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32			6		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32			6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1		3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35			3		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	4		5	個人によると思いますが、土曜利用の日は一日パソコンで疲れるという声もあり、外出イベントが増えるより楽しいかなと思いました。イベントなども頻繁に取り入れてくださっているので、メインのプログラミング活動以外の面での成長も感じられることがあります。	気温や天気の問題がないときに公園活動などを取り入れています。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	5	3	20			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	5		10		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36	2			毎回しっかりと活動報告をさせていただいており、ありがとうございます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	3		2	支援計画の際であればイースです。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	2		2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	6	5	15		保護者勉強会を実施していきます。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制や整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2		3		
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2		1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37			1		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	2			今のところ問題ないです。		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1	5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33		5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31		1	6
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	3		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	5		大切な居場所となっています。 とても好きなようです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1		いつもありがとうございます。 学校にこそ、なかなか足はまだ向きませんが、フェローさんは楽しみ！と、ここ最近では本人の中でルーティーンができ、精神的にも落ち着いて生活できています。塾や、習い事もへこむことなく、休まず通っております。 自分のやりたいことを見つけてきっかけも与えてくださり、そのサポートをしてくださり、親だけでは体験させてあげられないチャレンジができるよう、そしてその結果で自分に自信が付くよう導いてくださり、大変、感謝しております。 子供たちに配慮した運営がされていると感じております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年11月1日				
放課後等デイサービス フェローIntech						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		一人1台のパソコンを準備できている 席替え等して、児童の現状にあわせて対応している	人数がいっぱいになると少し狭く感じることもある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置を考えて勤務を組むことができています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーのトイレ、トイレの中にも手すりがある 基本的にフンフロアで活動しており、わかりやすい、視覚支援等	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃している 利用前、利用後の2回、掃除をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋も完備している 本社ビルが活用できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援計画を相談しながら作成している 部署方針の作成、振り返りをしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者会の実施に向けて動いている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談の実施 部署ミーティングや勉強会を通して業務改善に繋げている 申し送りを実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		たくさん研修の機会があり、自由に参加することができる。 社内勉強会を実施している	できている時とできていない時がある
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングを通してニーズや課題を分析して、作成することができている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		部署内のスタッフでの共通理解ができている 職員も作成等にも参画している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の共有 部署内のミーティングや申し送りの際に共有できている グループLINEに都度共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		イベントをスタッフ全員で考えている 部署内で話し合っていて決めている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	様々なプログラミングイベントの実施 プログラミングコンテスト等の実施	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	知育ゲームや始まりの会を通して集団活動も大切にできている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	申し送りの時間を設けている	毎日申し送りできていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○	社内のチャットツールにて共有	毎日できていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	システムを導入して記録している 保護者からの返信にもしっかりお答えしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを行い、支援計画に繋がっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	遅延の連絡を行っている 情報共有や連絡調整をしている 本部機能を設置しすみやかに連絡している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用していた場所とは情報共有できていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	社内にも就労支援があり、卒業後の支援も充実している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域との交流はあまりできていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡帳やチャットを通して伝え合っている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時説明を行っている 契約・見学・体験の際に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	モニタリングで設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	同意を得たうえでサインをいただいている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者勉強会は開催はまだできていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			早急に対応できている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			Intech通信の作成 アプリを通して行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			分かりやすい言葉で伝えることを意識している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			秋祭りの実施 秋祭りを通して招待することができている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			定期的に避難訓練を実施している	職員には周知しているが、保護者にはできていない可能性がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年2回の避難訓練、シェイクアウト愛媛の参加	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			契約時に聞き取りを行っている 契約やモニタリング際に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			保護者さんからの聞き取りだけになっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			福祉事業部勉強会にて話す時間を設けている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			福祉事業部勉強会にて研修の実施 勉強会を定期的実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			勉強会を定期的実施している		